



2021年11月12日

各 位

会社名 窪田製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役会長、社長兼最高経営責任者
窪田 良
コード番号 4596 東証マザーズ
問合せ先 広報・IR部
(TEL : 03-6550-8928 (代表))

2021年12月期第3四半期決算補足資料

窪田製薬ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、以下「当社」）が、本日開示いたしました2021年12月期第3四半期決算短信の補足資料として、今期の動きをまとめてお知らせいたします。

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染の更なる拡大等により、依然として先行き不透明な状況が続いておりますが、当社グループは、スターガルト病を対象とするエミクススタ塩酸塩の第3相臨床試験、クボタメガネの開発等を継続して実施しております。

◆新市場区分における「グロース市場」選択に関するお知らせ

当社は、2021年7月9日付けで株式会社東京証券取引所より、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果の通知を受領し、新市場区分「グロース市場」の上場維持基準に適合していることを確認いたしました。この結果に基づき、当社は2021年9月18日の取締役会において、新市場区分「グロース市場」を選択する意向について決議いたしました。今後は、東京証券取引所が定めるスケジュールに基づき、新市場区分の選択申請に係る所定の手続きを進めてまいります。

◆国際規格「ISO 13485 : 2016」認証取得のお知らせ

当社の100%子会社クボタビジョン・インクが、医療機器のデザイン・開発会社として「ISO 13485 : 2016」の認証を取得しました。ISO 13485は、医療機器に特化した品質マネジメントシステムの国際規格です。当社グループでは、今後も眼科領域の医療機器開発を積極的に推進してまいります。

◆AAO（米国オプトメトリー学会）で学術ポスター掲載のお知らせ

2021年11月4日（米国時間）に米国ボストンで開催された米国オプトメトリー学会（American Academy of Optometry Academy 2021 Boston）にて、現在開発中の「クボタメガネ」の研究データを「Effects of programmable projected defocus on ocular biometrics using a wearable device」と題し、学術ポスターを掲載いたしました。

窪田製薬ホールディングス株式会社について

当社は、世界中で眼疾患に悩む皆さまの視力維持と回復に貢献することを目的に、イノベーションをさまざまな医薬品・医療機器の開発及び実用化に繋げる眼科医療ソリューション・カンパニーです。当社100%子会社のクボタビジョン・インク（米国）が研究開発の拠点となり、革新的な治療薬・医療技術の探索及び開発に取り組んでいます。当社独自の視覚サイクルモジュレーション技術に基づく「エミクススタト塩酸塩」においては、糖尿病網膜症およびスターガルト病への適応を目指し研究を進めております。また、在宅・遠隔医療分野（モバイルヘルス）における医療モニタリングデバイス（PBOS）、ウェアラブル近視デバイスの研究開発も手掛けております。

（ホームページアドレス：<http://www.kubotaholdings.co.jp>）

免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。

本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。

本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定（一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません）に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。